

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	地域文化論
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科一般科目		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	プリント					
担当教員	田中 聡					
到達目標						
(科目コード：A0160，英語名：Regional Culture Theories) この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下に示す。①地域文化研究の基本的な方法を理解する。30% (A1)②長岡の地域的な特徴を理解する。30% (A1)③地域の歴史や文化に関して調査・分析を行い、それを相互に説明(発表)する。40% (A1)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	地域文化研究の基本的な方法を詳細に理解する。	地域文化研究の基本的な方法を理解する。	地域文化研究の基本的な方法を概ね理解する。	左記に達しない。		
評価項目2	地域の歴史や文化に関する調査・分析を詳細に行うことができる。	地域の歴史や文化に関する調査・分析を行うことができる。	地域の歴史や文化に関する調査・分析を概ね行うことができる。	左記に達しない。		
	調査・分析した結果を詳細に発表できる。	調査・分析した結果を発表できる。	調査・分析した結果を概ね発表できる。	左記に達しない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	地方再生が叫ばれる中、伝統文化の振興を通じて地域再生を試みる取組が官民間で活発に行われ、一つの潮流となっている。この科目では、こうした動向を重視し、身近な地域の歴史や文化に根差したものの見方・考え方を涵養する。 ○関連する科目：歴史学、地域産業と技術					
授業の進め方・方法	長岡の歴史と文化を素材としながら、地域文化研究の基本的な方法や地域に根差したものの見方・考え方を学ぶ。受講者は、自ら長岡の歴史や文化について調査・分析を行い、プレゼンを行う。 この授業は学修単位科目のため、事前・事後学習として、「週ごとの到達目標」欄にある課題等を事前・事後に予習・復習することが必要です。					
注意点	特になし。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	本授業の目標や方法などを理解する。 地域文化論を学ぶ意義に関する課題		
		2週	新潟県の歴史と文化 1	身近な地域の歴史や文化について理解する。 新潟県の歴史と文化に関する課題 1		
		3週	新潟県の歴史と文化 2	身近な地域の歴史や文化について理解する。 新潟県の歴史と文化に関する課題 2		
		4週	新潟県の歴史と文化 3	身近な地域の歴史や文化について理解する。 新潟県の歴史と文化に関する課題 3		
		5週	新潟県の歴史と文化 4	身近な地域の歴史や文化について理解する。 新潟県の歴史と文化に関する課題 4		
		6週	新潟県の歴史と文化 5	身近な地域の歴史や文化について理解する。 新潟県の歴史と文化に関する課題 5		
		7週	地域文化研究の方法と実践 1	地域文化研究の基本的な方法を理解するとともに、資料の収集・分析を行う。収集した資料の整理・分析に関する課題 1		
		8週	地域文化研究の方法と実践 2	地域文化研究の基本的な方法を理解するとともに、資料の収集・分析を行う。収集した資料の整理・分析に関する課題 2		
	4thQ	9週	地域文化研究の方法と実践 3	地域文化研究の基本的な方法を理解するとともに、資料の収集・分析を行う。収集した資料の整理・分析に関する課題 3		
		10週	地域文化研究の方法と実践 4	地域文化研究の基本的な方法を理解するとともに、資料の収集・分析を行う。収集した資料の整理・分析に関する課題 4		
		11週	地域文化研究の方法と実践 5	地域文化研究の基本的な方法を理解するとともに、資料の収集・分析を行う。収集した資料の整理・分析に関する課題 5		
		12週	課題発表会準備 1	研究方法への理解や収集した資料に対する理解・分析を深める。 発表資料の作成に関する課題 1		
		13週	課題発表会準備 2	研究方法への理解や収集した資料に対する理解・分析を深める。 発表資料の作成に関する課題 2		
		14週	課題発表会準備 3	研究方法への理解や収集した資料に対する理解・分析を深める。 発表資料の作成に関する課題 3		

		15週	課題発表会		研究方法への理解や収集した資料に対する理解・分析を深める. 発表資料の作成に関する課題 4		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	4	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	4	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				複数の情報を整理・構造化できる。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	4	後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	提出物	合計
総合評価割合	0	20	20	30	0	30	100
基礎的能力	0	20	20	30	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0